



Yonago East Weekly

50年を経て、さらに求める「奉仕の理想」

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 Tel (0859) 32-5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ANAクラウンプラザホテル米子
米子市久米町53-2 Tel (0859) 36-1111
- 会長/永島清孝 ●幹事/今出 上 ●会報/黒見純治

出席報告

会員数 112名

ビジター

メーカー

会員15名(第2回家庭集会 ワインレストラン クスクス)
 会員11名(11/15米子中央RC) 会員13名(11/15 クリスマス家族会打合せ)小土井君(11/17第3回地区青少年交換委員会 岡山国際交流センター) 大道君、松本(奈)君、多林君(11/22東京中央RC)楠君(11/22金沢

百万石RC) 会員19名(11/26米子南RC)

今週のお祝い

夫(主)人誕生日祝:1日 小田浩一君 中山晴文君 3日 鷺見雄司君 19日 尾沢裕子君 21日 伊藤慎哉君 澤 耕司君 22日 岩崎 稔君 29日 永島清孝会長 30日 上森英史君
スマイルBOX 26,000 円 (678,000 円)
 出席100%祝:永島(正)君 夫(主)人誕生日祝:伊藤君、岩崎(稔)君、永島(清)会長、小田君、尾沢(裕)君
 結婚記念日祝:林君、平岡君、古杉君 創立記念日祝:古杉君、永島(正)君 大山平原ゴルフクラブ月例B組で優勝しました。本日は例会欠席致しますが、スマイルをさせて頂きます。:井上(賢)君 本日新型ジムニー試乗車で参りました。駐車場奥にとめておりますのでよろしければご覧下さい。:尾沢(裕)君

会長挨拶

11月10日に第37回鳥取県インターアクト指導者講習会が米子水鳥公園を会場にして開催されました。インターアクト校3校の生徒や先生、私たちを含め計31名が参加しました。

午前中は水鳥公園神谷要館長の講演がありました。ハクチョウの餌は水草ですが、約30年前に中海の水質が急に悪くなり湖底に生えている水草が枯れてなくなってしまったため、現在の餌は安来の能義平野の田んぼにある水草だそうです。今、世界で問題となっているのはプラスチックゴミです。プラスチックやビニールは分解されず水中に浮遊し、それを鳥や魚が餌と間違えて食べてしまい消化されず体の中に残留し、餌が食べれなくなって死んでしまうのです。私たちの住む環境を汚しているのは私たち人間であり、ゴミを出さない、水を汚さないことが大切と肝に銘じながらこの話を聞いていました。

午後からは中海の湖岸に出てゴミ拾いを行いました。そのあとインターアクトの皆さんは3班に分かれてハクチョウを守る環境についての話し合いを行い、大人が考えつかないようないろいろな面白い意見が出ました。

”鳥たちを守るということは私たちの住む環境を守ること”ということインターアクトの皆さんと一緒に

勉強しました。水鳥公園で鳥たちを観察しているとゆったりとした気分になり、とても気持ちの良い1日を過ごすことができました。

幹事報告

- 1.石部裕一 会員 PHF 4回 表彰
 - 2.本日第2回家庭集会 18:30~
ワインレストラン クスクス 15名予定
 - 3.11/10第37回鳥取県IA指導者講習会
(米子水鳥公園) 永島 会長、井上 IA副リーダー含む計30名出席
米子松蔭高等学校 高嶋先生より報告書
 - 4.2018-19年度R財団地区補助金奨学生 藤田夏未さんより第1回中間報告
 - 5.11/26・27 平成の御代に 浅田重子展—藍愛ふれあい— (米子市淀江文化センターにて)
 - 6.例会変更のお知らせ
米子中央RC 11/29(木)夜間例会
ビジター受付あり
- | | | | |
|---------|-------------------|------------|----------|
| 米子南 | 11/26(月) | " | " |
| 鳥取中央 | 11/26(月)⇒11/24(土) | 創立30周年記念式典 | ビジター受付あり |
| 松江東 | 11/22(木) | 休会 | " |
| 米子中央・鳥取 | 11/22(木) | 休会 | なし |
| 米子・鳥取西 | 11/23(金) | 休会 (祝日) | なし |



BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう

<プログラム>

「ロータリーの友」の紹介

雑誌委員会 北沢 薫 会員

- 1.RI指定記事 RI会長メッセージ P3
- 2.RI指定記事 ポリオ撲滅までのガイド P18-P27
- 3.米山記念奨学会 よねやま親善大使 P32-P33

「ロータリーに学ぶ」

障がい者における思いやりの心
新納 哲雄 会員 元会長



ロータリーに学ぶということに関連して、例会出席とロータリーの友、ガバナー月信、週報などを読むと身構えることなく、ロータリーに学ぶことが出来ます。まず、例会に出席すること、月3回の例会に出席し、会員同士、顔を合やすだけでも自然に親しみが湧くと思います。

ロータリーは異業種の集まりです。そのためあまり利害も生じません。会長幹事も1年で代わります。役目をされた方も達成感の方が強くストレス無く役目を出来ると思います。現会長幹事様はそんなことは無いと思っておられると思いますが、ロータリーは信じることです。疑ってはいけません。

私も病気で例会に出席出来ない時がありました。久々に例会に出た時は、皆様と顔を合かし懐かしく思いました。「失って知る、日常のありがたさ」例会出席も健康でなければ出来ません。私は、あちこちにガタがきてますが、例会出席を楽しみにしています。当たり前前が当たり前出来る。「幸せは3歩進んで2歩よろける」欲張ってもいけませんので、今後の人生はこれで行こうと思います。

障がい者における思いやりの心

よく奉仕奉仕と言われますが、奉仕の原点は「思いやり」だと思います。思いやりの心がかつとも大切なことです。ロータリー精神の根幹でもあると思います。ロータリーの目的の最初に、知り合いを広めることによって奉仕の機会とすることとあります。知り合いを広めるには人と人との出会いを大切にすることです。例会に出席することにより、知り合いを広めることが出来ます。ロータリアン同士の出会いでは、ほとんどが健常者です。

ロータリーの友に障がいを持った方に思いやりを持つ記事がたくさん載ってます。

2年前に境港で開催されました地区大会では、ダウン症の書道家、金澤翔子さんの書の実演とお母様の講演がありました。その時の「夢」という字、書き終わった時の挨拶に大変大きな力を頂き感動しました。

また、翔子様は東日本大震災復興でも皆様を元気にしたいと、汚れの無い真っ白な心で訴えられたのが印象的でした。

ダウン症でタレント活動をされているあべけん太様もこうっております。

障がい者はいなくなった方がいいという人は、本当の意味で障がいのある人でも本当は幸せで楽しく生きることを知らないからだと言っておられました。なんでも自分勝手な偏った考えではいけないと思います。よく障がい者を理解し知ることが大切だと思いました。普段の生活の中でも弱者といわれる障がい者の方々はたくさんおられます。若くて健康でエリートだけが大切にされる社会で在ってはあまりにも味気ないです。

人と人の出会いによって、これからは健常者も障がい者もお互い同士理解され分かち合いの広い心が今後広がることを願ってます。我々一人一人がことさら身構えることなく、ロータリーの原点でもあり奉仕の原点でもある思いやりの心で接していけば良いと思います。障がい者の方は不自由なことがあっても決して不幸ではありません。自分のできる範囲で精一杯輝いて生きて頂きたい。そのために、ロータリアンは、思いやりの心で協力を惜しまないことでしょう。

次回プログラム

11/28 「米子市の未来とまちづくり」

米子市長 伊木隆司 氏

10/26~28 グレン&千杯 田中作次旗
第15回ロータリー選抜野球大会

